

【アンケート調査】

メディアセンターでは2012年度4月のV-Campus 更新にあたり、教職員、学生を対象にした事前アンケート調査を2011年7月に行った。アンケートにはGoogle フォームを使用し、メールで教職員、学生に送信する方法を採用した。

以下にそのアンケート内容と集計結果を掲載する。それぞれの項目に対し、自由記述で記入された内容を分類し、集計している。

－ 立教 V-Campus の更新に関するご意見ご要望 －

立教 V-Campus の更新に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい。お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

メディアセンターが提供している「立教 V-Campus」は、4年ごとに定期的な更新を行っています。現在、総長の指示のもとに V-Campus 更新委員会が設けられ、次期システムとなる「立教 V-Campus5th」の設計がすすめられているところです。委員会では、学部、学科、教員、学生など、組織や利用者からの多くのご意見・ご要望を、できるだけ更新に反映させるという方針のもとに、このフォームをご用意させて頂きました。

ご意見・ご要望

今回の更新の対象となる主なシステムは、「授業支援システム (CHORUS)」「PC 教室システム」「メールシステム」「インターネット接続」です。各項目ごとに、現状の概要をご説明していますので、それらをご参考に、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。また、あまり V-Campus を活用していない利用者については、どのようなサービスがあれば利用するのか、利活用してもらうためには、どのようなものが必要なのかという観点からもご回答いただけますと幸いです。

1. 授業支援システム (CHORUS)

V-Campus では、CHORUS というシステム名で授業支援システムを提供しています。利用者も増加し、Blackboard という新しい学習管理システムも追加して試験運用を重ねています。次期システムでは、従来の CHORUS に Blackboard を統合した新しい CHORUS として性能強化した授業支援システムを提供する予定です。

[回答内容の分類と集計結果]

	学生	教職員
機能追加について	7	11
継続希望について	2	2
利用促進について	7	0
その他	3	3

2. PC教室システム

現在、V-Campus では、池袋キャンパス 8303, 8304, 8402, 8403, 8404、新座キャンパス N821, N822, N823 を、シンクライアントシステムとして構築し運用しています。次期システムでは、英語版 OS の選択を可能にするためサーバを増強する予定です。一方、クライアント PC はシンクライアント端末として継続利用を原則に検討しています。プリンターに関しては、更新を予定していますが、一部の大学では、CO2 削減に配慮し、教室内での印刷を廃止している動きもあり、携帯端末や電子ブックの普及の動向を踏まえ、本学でも授業中の印刷をしない授業運営の可能性も検討しています。

[回答内容の分類と集計結果]

	学生	教職員
OS について	2	0
印刷について	7	3
性能について	2	1
教室について	0	1
その他	3	3

3. メールシステム

現在、メールに関しては、V-Campus4th で導入した Gmail を中心に従来の学内メールシステムを並行運用しています。次期システムでは、Gmail を継承しつつ、運用コスト削減と可用性の向上のために、学内メールシステムを Live@edu に変更する検討を進めています。また、メーリングリストシステムについては、需要に合わせたシステムの増強とメールシステムとの連携機能を強化する予定です。

[回答内容の分類と集計結果]

	学生	教職員
機能について	7	4

継続希望について	1	5
性能について	1	0
その他	1	1

4. インターネット接続

現在、V-Campus では、学内からのインターネット接続を「学術情報ネットワーク (SINET4: サイネット・フォー)」を通して行っています。また、SINETが一時的にサービスを停止する場合は、社会情報教育研究センターの情報基盤構築で整備したインターネット接続回線がバックアップ接続として機能する構成になっており、24時間365日のインターネット接続を実現しています。

次期システムにおいてもSINETを利用したインターネット接続サービスとバックアップ回線を継続する予定です。さらに、次期システムでは、耐災害性を強化するため、インターネット接続と同様にキャンパス間の回線の二重化や、増大するインターネットセキュリティに関しても対策を検討しています。

[回答内容の分類と集計結果]

	学生	教職員
性能について	1	0
ファイルアクセスについて	0	3
無線 LAN について	1	1
その他	2	3

5. 次期 V-Campus のアピールポイント・セールスポイント、その他

現在の V-Campus4th の特徴は、仮想化基盤、シンクライアント、GoogleApps(Gmail)でした。次期システムでは、耐災害性の強化(ネットワークの二重化、データセンターやクラウドの一層の活用、授業支援システムの強化)を検討しています。また、マイクロソフトの包括ライセンス契約による全学生教職員へのWindowsOSとOffice製品のライセンス提供なども検討の候補に挙がっています。その他、アカウント管理システム、ネットワークドライブシステム、Webシステム、ポータル・グループウェアなども更新の範囲になっています。

[回答内容の分類と集計結果]

	学生	教職員
ソフトウェアについて	1	6

継続希望について	0	2
情報発信・共有・集約について	4	4
性能について	1	1
利用促進について	1	1
その他	6	1